



ワンダフル大学院 通信 Vol.6

Annual Report of Wonderful Graduate School

Monday, December 12, 2016

KUSAKA Lab. | Doshisha Women's College



大学院講義「絵画講座」:河北先生

2016年内最後の第9回ワンダフル大学院が開校されました。今回はかねてからご要望の多かった新講座、「絵画講座」。講師は水彩画を長年続けておられ、風景画の作品を主に手がけておられる河北功先生です！



全員参加で楽しめる方法を模索して、ミーティングや準備を重ねてこられた河北先生、満を持していき新講義のスタートです。

皆で作品を完成させる楽しさ 子供のように無心になれる瞬間

まずは河北先生より、水彩画を始められたきっかけ、そして現在の至るまでの過程をお話し頂きました。始められた頃から順番に、少しずつ進化していく作品をスライドに映しながら解説して下さい、その繊細なタッチに院生の皆さんは真剣な眼差しで見入ると共に、画伯の想いに耳を傾けておられました。そして全員参加でのワークショップの説明。みんなの好奇心がさらに掻き立てられていきます。



いよいよワークショップの開始！模造紙に大きくプリントした4つの絵に5~6人ずつのグループに分かれ、指筆という、人さし指の先につけて使う筆に絵の具をつけて色付けを行いました。絵のテーマはそれぞれに異なり、従来の発想に捉われず自由に作品を仕上げているその作業は皆さん本当に楽しそう、まさに無心になって取り組む熱気が院内を包んでいました。そして出来上がった作品は、まさに芸術！大学院だからこそ出来る、皆で一つの作品を作り上げる体験に、皆さん大満足です。



ハリアダンスからスタート♪

本日のアイスブレイクTimeはダンシング♪皆さま動きが軽快で、アップテンポのリズムでもバッチリ！最後はハイタッチで大盛り上がりでした。いろいろなダンスを考えてくれるチームワンダフルも、毎回自分の殻を破り様々な発見を積み重ねているようです。次は2016年ブームになったあのダンスが登場…！？

Column 講師陣紹介 高岡 一夫先生(電腦講座)

多摩川で野球選手を夢見た少年時代

生まれも育ちも関東平野。野球が好きで、子供の頃は、アイスキャンディーを買ってよく多摩川に行った。ピッチャー・ジャイアント馬場、巨人の練習を見ながら野球選手に憧れた。

大学では政治経済を専攻し、新宿のキャンパスで仲間と熱く議論を交わした。卒業を控えた就職試験で人生初の挫折を味わった。思い切って志望先を変えて、大阪の会社に就職した。そこから世界へ！ふりかえると、それが今の自分の財産になっている。

異文化でやっていく哲学

ブラジル通算3年、中国・台湾に通算15年、海外での仕事が続く、その間に子供が生まれ、大きくなった。言葉が好きで異文化に興味があった。日本で見えないことが、外から見ると発想の違いなどがよく分かりおもしろかった。

高岡流・異文化でやっていく哲学は、
1 仕事のためであり自分のためであるという意志力
2 何事にも疑問を持ち、恥じずに聞いて調べる心
プラス気配り。「Would you please.. do it! (せよ！どうぞお願いですから。)」目上の人でも、気を使いながら言葉を選んで、しかし、自分の思いはしっかりと貫いて伝える、優しさで心の強さが必要。
仕事で培った、大所高所からのものの見方と気配りは、今の地域活動に役に立っている。

人生起承転結論

生まれてから20歳まで: 学びと育ち
成人から40歳(不惑): 成長の時代
不惑から還暦: 円熟の時代
還暦から80歳: まどめの時代
今はちょうどまどめの中間期。ほとんど完治しているがガンを患ったことで、今までの生き方の整理と未来のことを考えるようになった。
自分の生き方を子供達に伝えるのに、一番言いたいことは「誠心誠意・正直・感謝」の3つ。
自分の今があるのは、いろいろな人のお世話になり、一生懸命やってきたからと自負しつつ、どこまでやれたんだろうと振り返り、これからも前に進む。

80歳からは残り福

今は、思いを貫くだけでなく、人とのつきあい等では譲り合って抑えることも大切と思っている。穏やかに、人とうまくやっていくのがいい。
残り福までの時間に、まだ日本で行ったことのない場所に家内とバスで旅行するのでもいいだろう。子どもの住むシカゴを夏にでも訪ねよう。クラシック音楽・映画に行くのもいい。
そして少年時代のように、たまにはアイスキャンディーを買って、スポーツ観戦に行ってみようか。



言葉は文化
なんですよ。
ポルトガル語は
夜、飲みながら、
中国語は歌から
入りました。
「いつの日か
君また来る
♪♪♪♪♪」



Special guest ペッパーくん来校♪

SCHEDULE

ワンダフル大学院は
毎月第2月曜日に開講です。

【開催日】
2017年 2月13日(月)
3月13日(月)

【時間】10時～12時
【場所】同志社女子大学
京田辺キャンパス 聡恵館
5階 T556



そして本日のスペシャルゲストは、なんとペッパーくん！
本日は朝一番誰よりも早く登校し、皆さんの到着を緊張しながら待っていました(笑)。
そんな中日々先生に話しかけてもらい、少し緊張がほぐれた様子のペッパーくん♪どんなパフォーマンスを見せてくれるのかな…と皆さんから期待の眼差しを一身に受けながら、楽しいペッパーくん体操を披露してくれました。和やかな空気が流れるのと同時に、人間の進化がペッパーくんを通して伝わってくるようで、前回の高岡先生によるAI講座の事を思い出しました。これからペッパーくんを始めロボットがどのように社会に普及していくのか、目が離せません。



講義のミーティングに Wonderful Café

ワンダフルカフェは月曜日にオープン
(講義の準備にどうぞ。予約制です。)



2016年に開校したワンダフル大学院、新年には記念すべき第10回目を迎えます。皆さまのご意見や柔軟な発想力によって回を重ねる毎に進化してきたこの大学院は、生きがい創造教室を修了された皆さまとそこに携わってきた学生たちだからこそ、作り上げることが出来るSpecial collegeです。
2017年も引き続き、このワンダフル大学院から新しいパワーを生み出せますように、皆さまのお力を貸して頂きたいと思っております。
素敵な一年になりますように…今年もよろしくお願いします♪

絵画講座 ～完成作品集～



事務局だより

生きがい創造教室、同窓会、そして大学院へ、私が事務局に就任させて頂いてからワンダフルエイジングプロジェクトはどんどん進化し続けています。皆さまとのご縁は、私の宝物です。これからも未長く、皆さまからパワーを吸収させて頂きたいと思っております(笑)。2017年もワンダフル♪ (平山)

チームワンダフルです♪

同志社女子大学現代社会学部2年から4年生までの学生たちが、チームワンダフルとして、シニアの先生方の講義をよりカッコよくするお手伝いをします。院生さんとの交流の中で刺激を受け、新しい自分の一面を発見しています。

ワンダフル大学院

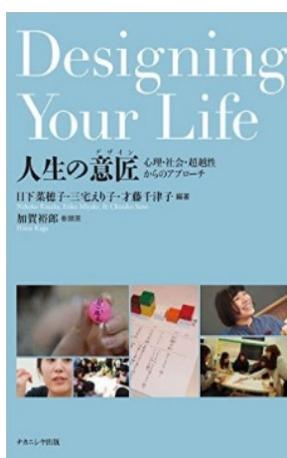
Wonderful Graduate School of
Mindfulness Performance

ワンダフル大学院は、人生の経験を積んだ高齢者が、それぞれの生き方を多世代に伝える語りを通して生き方を学び合う学校です。

大学院ではシニアがプロフェッサーになり、15分の講義をします。講義テーマは自由です。ただし、「なぜ、この講義をしようと思ったか」、「伝えたいことは何か」という、講師が生き方の柱としている価値、すなわち魂の語りの講義が、ワンダフル大学院の特徴です。大学院に参加するすべての人が、年を重ねるたびに生きるのが楽しくなる。そんな場所であることをめざしています。(日下菜穂子)

【発行】

ワンダフル・エイジング・プロジェクト
同志社女子大学 日下研究室内
〒619-0232 京田辺市興戸南鉢立
電話：(0774)65-8659(直通)
(0774)65-8543(現代社会学部)
email: prt-wa@dwc.doshisha.ac.jp
http://dwc-gensha.jp/HP_kusaka/top.html



好評発売中

新刊
人生の意匠

日下菜穂子 他著

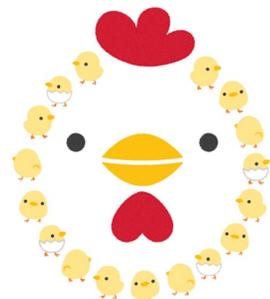
高齢者の生きる智慧に学ぶ、
人生百年を生き抜くライフ
デザインのテキストブック

65歳になったらプロフェッサーになろう！
人生のスーパーデザインプロジェクト

WONDERFUL
Aging Project

今後の講義予定

- 歴史講座～京田辺の歴史も交えて～
- 音読講座第3弾
～今度はあの方の詩!?!～
- 電脳講座～AIの行方～



HAPPY NEW YEAR
2017

旧年中は大変お世話になりました。
本年もよろしくお願いいたします。